



# 東京教育研究所の概要



東京教育研究所

---

2017.11

## 東京教育研究所の概要

教育実践の叡知を「シェア」すること .....	2
1. 東京教育研究所の成り立ち .....	3
2. 再発足したころ .....	4
3. 現在の活動 .....	4
4. 研究報告書および「東研情報」「Edu News」の刊行について .....	5
5. 「現代学校経営シリーズ」を国立国会図書館に寄贈 .....	6
6. 東京教育研究所のホームページ .....	6
7. これまでの発行物 .....	7
東京教育研究所の案内 .....	31

## 教育実践の叡知を「シェア」すること

東京教育研究所所長 谷川彰英

東京教育研究所の設立は昭和28年（1953）というから、すでに64年の長い歴史を経ていることになる。私が所長に就任したのは平成20年（2008）のことで、その時点から現在の研究組織がスタートしている。現在「学校経営部会」「教員研修部会」「研究開発部会」の3つの部会に分かれ、その下に計12の委員会が設置され、それぞれ年間計画を定めて研究を推進し、報告書が刊行されている。

各委員会を任されている主任研究員はそれぞれ小中学校で長い教員生活を経験されてきた方ばかりで、校長経験はもちろんのこと、教育長などの役職を経て現在大学で教職課程を担当する大学教員になっている方が多い。

日頃その研究員の先生方と接し様々な話を伺っていると、このような方々の意見こそ教育改革に反映する必要があると痛感する。現職時には立场上言えなかったことが今は言えるということがある。それは教育職に限らずどんな職域でも言えることである。私の経験でも、大学に在職していた時には言えなかったことも今は言えるということもある。自由に言える立場の経験者の叡知に学び、そこから教育改革を進めていく必要がある。

東研の主任研究員の先生方の発言には、長い教員生活から得られた叡知が込められている。本来ならば、このような声こそ教育改革に活かすべきだと思う。だが、現実的には教育行政でこのような声が反映される場所は極めて限られてしまっている。

ならば、どこでこのような先生方の声を反映させることができるか？ それは本研究所に置かれている12の研究委員会である。主任研究員のミッションは、自らの長い教員生活で育んできた蓄積を「シェア」することである。韓国ドラマの中の話だが、「なぜ学問をするのか？」という問いに対して、王子が「それは“分ける”ことです」と答える場面があった。学問をするという機会に恵まれた人の責務は、その蓄積を多くの民に分け与えることだと言うのである。ドラマとはいえこれは見事な問答だと思った。

長い教員生活を通して蓄積された叡知を後続の若い世代の教員たちに「分けて」いくというミッションを研究員は持っている。そのために東研の研究は行われるのである。権威におぼれず、素直に教育現実を直視し、そこから得られた叡知を研究委員会で紡いでほしい。その成果は必ず我が国の学校現場活性化に貢献することになるだろう。

もともと東京教育研究所は東京書籍の教科書編集の基礎資料を得るために設立された組織であった。しかし、今や全国の学校現場を担っている教員たちにより良い教育実践を遂行するための叡知を届けるのがミッションと言えるまでにその活動場面と役割を広げてきている。学校現場に希望と活力を届けるのが東京教育研究所のミッションである。ささやかであっても、日本の子どもたちの未来のために、学校教育の改善への指針を築いていきたい。

教育を語ることは未来を語ること、未来を語ることは希望を語ることである。

## 1. 東京教育研究所の成り立ち

東京教育研究所は、昭和28（1953）年7月20日、東書文庫所在地（北区栄町）に教育研究機関として設立された。設立の目的は、教科書の編集に必要な基礎資料を得るためであり、特に国語、社会、算数、理科の4教科についての基礎的な調査研究を行うことにあった。

設立当時の理事は、次の9名であった。

柳田國男（学士院，芸術院）	土岐善麿（国語審議会）
茅 誠司（東京大学）	服部静夫（東京大学）
海後宗臣（東京大学）	村上俊亮（東京学芸大学）
彌永昌吉（東京大学）	三村征雄（東京大学）
藤田貞次（東京書籍取締役）	

設立当初は東京書籍の編集部からの委嘱事項について調査研究したが、昭和29年から理事の柳田國男の提唱により、「国語教育における聞き方指導の研究」を開始した。この調査研究は、日本では未開拓の分野だけに、画期的なものとして各方面から注目された。また、アメリカ、ソ連をはじめとする外国の教科書の研究も、各方面から期待が寄せられた。それらの研究報告書は、昭和31年から37年まで28冊となった。その後、研究所再発足後の研究報告書は、『東教研研究報告』として昭和54年1月（No.1）から継続して発行され、平成24年5月にNo.241まで発行された。

なお、昭和40年代初めごろまで、理科標本の陳列ケースを廊下に設け、チョウやガの昆虫標本約800点と鉱石標本約150点を展示・公開していた。

さらに、昭和30（1955）年7月には、国語教育の作文の復興を願い、児童の作品を収集することを目的として、全国の小学校児童から作文を募集し、その入選作品を集録した『こども文集』第1集を、昭和31年に出版した。それ以来、毎年続けて、昭和38（1963）年第8集の出版をもって一応の区切りをつけた。この文集の内容は、理科的な観察記録、社会的な調査記録であり、当研究所独自のものとして、その教育的な意識が高く評価された。

東京書籍の機関誌は、当初、昭和23（1948）年9月に『教育復興』（A5判・32P）として創刊された。これは、教科書会社の研究機関として昭和23年4月に設立された新日本教育文化研究所から発刊され、昭和26年夏まで、戦後の混乱期の教育の進むべき方向を探った。その後、昭和27年1月『教室の窓』（総合版）が、装いも新たに教養に資する教科の指導に役立つ“教室の友”として創刊された。当初、その編集は教科書編集部で行い、昭和28年7月に東京教育研究所が設立されてからは、本研究所で編集・発行を行った。

昭和34（1959）年6月には、『教室の窓』中学国語・社会・数学・科学を各B5判8ページで編集・発行し、以後、昭和37（1962）年5月からは高校通信東書国語・倫理社会政治経済・日本史・地理と順次発行し、18の冊子の発行に至る先駆けとなった。

また、昭和41年には、東書文庫開設30周年記念出版として、教育シリーズを企画し、B6判

64～84ページほどの「国語教材の100年」（昭和41年12月15日発行）、「算数教材の100年」（昭和42年4月30日発行）、「道徳教材の100年」（昭和42年6月1日発行）の3冊を刊行した。

その後、東京教育研究所は、表面的にはまとまった研究活動を休止していたが、理事会は毎年開催され、教育および教科書のあり方について、より高い立場からの意見の交換が行われてきた。その間、資料の整備、継続生物生態調査、教科書の挿絵の研究など、教科書編集上の調査研究の指導や助言が継続して行われた。昭和50年以降は、従来の理事会に新しく教科書の監修者を加えて顧問会議とした。

## 2. 再発足したころ

教育を取り巻く環境の変化は、それまでよりも激しく、価値の多様化が進んできた。昭和51（1976）年12月には、「小学校、中学校及び高等学校の教育課程の基準について」の答申がなされ、これを受けて、昭和52年7月に小・中学校の学習指導要領、翌年8月には高等学校の学習指導要領が告示され、教科書および教材類が全面的に改訂されることとなった。このような教育界の動きの中で、研究所の実効ある活動の再開が待たれていた。

昭和53年は、東京教育研究所の創設25周年にあたり、この機会に新しい体制を整えて再発足することとなった。4月28日、東書文庫内に設けられた研究所で主任研究員、地方分室長、東京書籍の鈴木和夫社長をはじめとする役員が集まり、新しい出発を祝った。

ちなみに、東京教育研究所の所在地は、設立当時の北区栄町から、昭和51年春には、東書ビルの完成に伴って台東区の本社社屋に入った。その後、昭和63（1988）年12月末、文京区本駒込6丁目の第二ビルに移った。現在は、北区堀船2丁目の東京書籍本社社屋に入っている。

## 3. 現在の活動

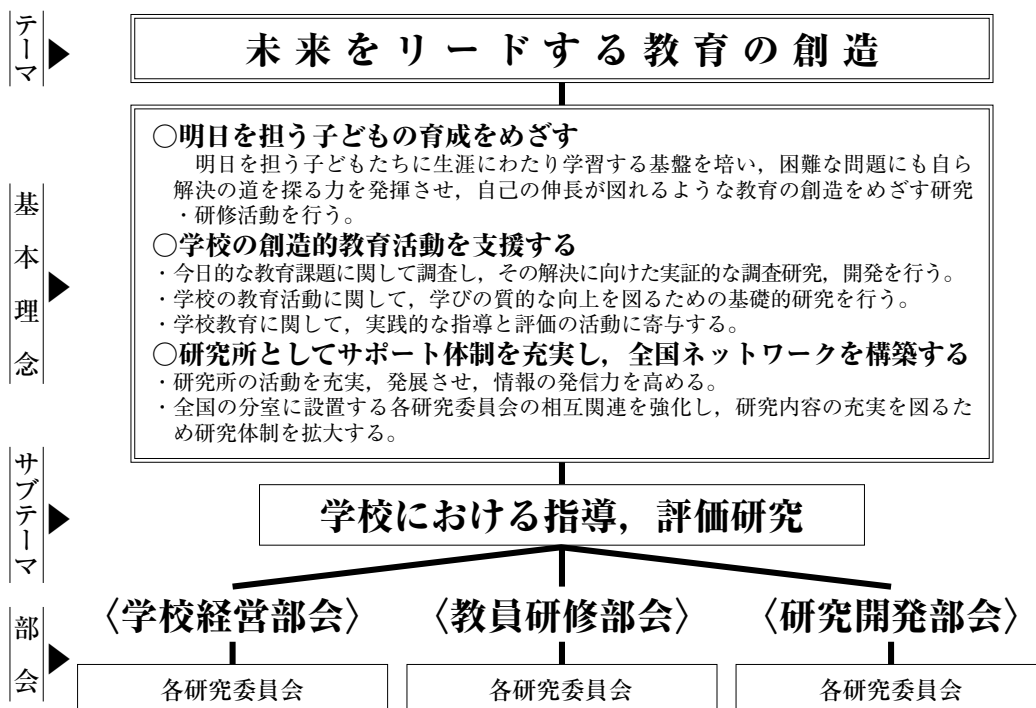
近年、東京教育研究所の現状と問題点について議論を重ねてきた。研究テーマや研究活動計画を組織的に検討し、研究機関として機能を高め、さらに、「学びの基礎研究」や「教育内容・方法・形態および今日的な教育課題に関する調査・研究」と「教育実践のサポート」を柱とする拠点に位置付けるために、東京教育研究所の組織改革が検討された。

平成20（2008）年4月に、東京教育研究所の中核となる運営委員会と本部を首都圏に置き、首都圏を除く7つの支社には東研分室を設置して、組織の改編を行った。さらに、運営委員会と本部の下に3つの部会（学校経営部会・教員研修部会・研究開発部会）を設置して、すべての主任研究員は3つの部会のいずれかに所属することとした。喫緊の教育課題などについて、各主任研究員は主体的に組織・運営する研究委員会などで研究活動を行っている。すべての研究成果の概要は年度の研究報告書としてまとめるとともに、各研究委員会の研究成果は冊子にまとめたり、ホームページに掲載したりするなど、公表している。

組織の改編に伴い、東京教育研究所の所長には谷川彰英（当時筑波大学副学長）が就任した。谷川所長を中心に、首都圏の主任研究員などで構成する運営委員会を定例会議として行い、研

究を深めている。

改編後の東京教育研究所の「研究の構造」として、テーマおよび基本理念は以下のとおりである。



上のテーマおよび基本理念を堅持しつつ、今後の東京教育研究所は、研究所としての独自性を堅持するとともに、シンクタンク機能、コンサルティング機能、人材バンク機能が発揮できる役割を担い、学校教育に関する調査研究、教員研修に関する調査研究、東京書籍の各事業部門からの委嘱研究、行政・研究団体・大学・企業等との連携に努め、教育界の発展に広く寄与していきたい。

#### 4. 研究報告書および「東研情報」「Edu News」の刊行について

再発足した昭和53年ごろ、東京教育研究所の研究報告書は、研究テーマごとに、ほぼ年間5回にわたる研究会を開いて、実践的な活動を行い、その成果をまとめたものであった。しかし、教育環境の変化に対応した、タイムリーな現場指導に関する教育情報・資料の提供を求める声が高まってきた。

そこで、このような要望にこたえるため、「東研情報」を発行することになった。「東研情報」は、多くの教職員の方々からのご協力を得て、昭和57（1982）年1月から年3回～5回で編集・発行した。B5判で8ページから12ページという簡便で手ごろな実用記事は、読者の方から歓迎された。平成3年6月の時点で、「学校経営」が48号、「国語」・「社会」・「算数」・「理科」が各38号を数えるにいたった。

また、ほかに、平成3（1991）年4月で「音楽」が13号、「道徳」が12号を数え、関西分室発行の「学校経営」が13号を、同「学年・学級経営」が14号を数えた。

その後、「東研情報」の整理・統合が行われた。平成20（2008）年4月より「東研情報」の

発行は「学校経営」が小学校と中学校の統合版になった。A4判12ページの冊子として、義務教育における小学校と中学校の関連・連携を視野に入れたテーマを企画会議において設定し、現在、年3回（4月・9月・1月）の発行を続けている。平成26（2014）年9月号で通巻すると、「学校経営」小学校が117号、中学校が40号になった。

平成17（2005）年1月より、教育行政向けの情報誌として「Edu News」を発行している。「Edu News」は、その時々々の教育ニュースについて、教育系新聞の記事を「文部科学省情報」「地方教育行政情報」などに分類してまとめて掲載したもので、年6回、奇数月に発行している。平成26（2014）年11月号で60号が発行された。

各教科の研究報告書は平成11（1999）年4月をもって区切りをつけ、学校が教育全般の課題に取り組むための指針となるよう、年間2冊の「現代学校経営シリーズ」と、その時々々の教育課題などに対応した「特別課題シリーズ」に力を入れることにした。

平成20（2008）年4月に組織の改編に伴い、学校経営部会、教員研修部会、研究開発部会の3つの部会を設置し、研究を深めてきた。

平成29年度は、学校経営部会には学校経営研究委員会Ⅰ、学校経営研究委員会Ⅱの二つがあり、現代学校経営シリーズとして今日的な学校課題に対する学校の道標となる研究報告書を作成している。小中連携一貫教育研究委員会、東研情報として情報を発信している。教員研修部会には授業力改善研究委員会、国語教育研究委員会、生活科教育研究委員会、保健体育教育研究委員会、研究開発部会には「特別な教科 道徳」研究委員会、教育課題実践研究委員会、特別支援教育研究委員会があり、差し迫った新学習指導要領に即した内容の研究にも意欲的に取り組んでいる。基本的には年度末に成果物として報告書を刊行し、ホームページ上でも公開をしている。

## 5. 「現代学校経営シリーズ」を国立国会図書館に寄贈

昭和62年12月に創刊した「現代学校経営シリーズ」は、No.59の最新刊まで、長きにわたって全国の小学校・中学校の学校経営に携わる多くの先生方にご愛読いただいた。この度、国立国会図書館より、「国立国会図書館法（昭和23年法律第5号）に基づき、文化財の蓄積及びその利用に資することを目的とし、同法に定められた納本制度に基づいた国内刊行出版物の収集」として、同シリーズの冊子について納入要請の連絡を頂戴し、寄贈させていただいた。

## 6. 東京教育研究所のホームページ

平成21年（2009）年5月にホームページを立ち上げ、東京教育研究所の研究報告書を広く周知させるため、ホームページ上で公開することとした。近年発行した研究報告書のほか、各分室・研究委員会からの発信、「Edu News」・「東研情報」の紙面や「Edu News」の最終ページに掲載している「教育キーワード」もアーカイブスとして公開している。

ホームページアドレス <http://touken.tokyo-shoseki.co.jp/>

## 7. これまでの発行物

### <その1> 研究報告書

教科等	No	書名	判型 ページ数	発行年月日
学 校 経 営	63	・教職員の資質の向上 (現代学校経営シリーズ1)	新書判 184	昭和62. 12. 10
	72	・組織を生かした学校経営 (現代学校経営シリーズ2)	〃 180	62. 12. 10
	84	・校長の指導性 (現代学校経営シリーズ3)	〃 184	62. 12. 10
	99	・個性重視の教育	B5. 40	62. 5. 23
	104	・現代の教育的課題と学校経営	〃 48	63. 4. 2
	113	・新教育課程と学校経営 (現代学校経営シリーズ4)	新書判 148	平成 3. 3. 25
	122	・創意ある教育課程の経営 (現代学校経営シリーズ5)	〃 148	3. 3. 25
	134	・子供の側に立った学校教育の実践	B5. 48	3. 4. 8
	141	・自己教育力の育成 (現代学校経営シリーズ6)	新書判 144	4. 6. 1
	142	・学校教育の危機管理 (現代学校経営シリーズ7)	〃 136	4. 6. 1
	147	・新しい学校経営を考える (現代学校経営シリーズ8)	〃 144	5. 4. 1
	148	・学校教育の危機管理Ⅱ (現代学校経営シリーズ9)	〃 160	5. 5. 20
	153	・新しい学力観に立った学校教育の推進 (現代学校経営シリーズ10)	〃 144	6. 4. 1
	154	・学校教育の危機管理Ⅲ (現代学校経営シリーズ11)	〃 156	6. 3. 25
	159	・子ども, 教職員の一人一人を生かす学校経営 (現代学校経営シリーズ12)	〃 140	7. 4. 1
	160	・学校教育の危機管理Ⅳ (現代学校経営シリーズ13)	〃 116	7. 3. 25
	161	・生きる力を育てる学校 (現代学校経営シリーズ14)	〃 120	8. 4. 1
	166	・学校教育の今日的課題Ⅰ (現代学校経営シリーズ15)	〃 156	8. 3. 25
	171	・学校教育の危機管理Ⅴ (現代学校経営シリーズ16)	〃 144	8. 4. 20
	172	・生きる力を育てる学校 (現代学校経営シリーズ17)	〃 120	9. 4. 1
	173	・学校教育の今日的課題Ⅱ (現代学校経営シリーズ18)	〃 116	9. 4. 1
	178	・21世紀の教育を創造する学校経営 (現代学校経営シリーズ19)	〃 120	10. 4. 1
	179	・学校教育の今日的課題Ⅲ (現代学校経営シリーズ20)	〃 146	10. 4. 1
	184	・「心の教育」と学校経営 (現代学校経営シリーズ21)	〃 122	11. 4. 1
	185	・学校教育の今日的課題Ⅳ (現代学校経営シリーズ22)	〃 144	11. 4. 1
	186	・新・校長の指導性 (現代学校経営シリーズ23)	〃 128	11. 4. 1
	191	・総合的な学習を創造する学校経営 (現代学校経営シリーズ24)	〃 128	12. 4. 1
192	・学校教育の今日的課題Ⅴ (現代学校経営シリーズ25)	〃 152	12. 4. 1	
194	・新しい時代の新しい学校づくり (現代学校経営シリーズ26)	〃 128	13. 4. 1	
195	・変化の時代の学校教育Ⅰ (現代学校経営シリーズ27)	〃 144	13. 4. 1	



教科等	No	書名	判型 ページ数	発行年月日
学 校 経 営	196	・校内運営の活性化と主任の資質の向上 －特色ある学校づくりのために－	B5. 64	平成13. 4. 1
	196	・「かかわりの教育」の推進 (現代学校経営シリーズ28)	新書判 132	14. 4. 1
	197	・変化の時代の学校教育Ⅱ (現代学校経営シリーズ29)	〃 132	14. 4. 1
	199	・教育課程に準拠した各教科主任等の必携 －子ども一人一人の学力を保障するために－	B5. 68	15. 3. 20
	200	・子どもを伸ばす学習評価・学校評価 (現代学校経営シリーズ30)	新書判 136	15. 4. 1
	201	・変化の時代の学校教育Ⅲ (現代学校経営シリーズ31)	〃 188	15. 4. 1
	203	・教師の未来を拓く研修と評価 (現代学校経営シリーズ32)	〃 160	16. 4. 1
	204	・変化の時代の学校教育Ⅳ (現代学校経営シリーズ33)	〃 154	16. 4. 1
	205	・「学ぶ意欲」を支える学校経営 (現代学校経営シリーズ34)	〃 160	17. 4. 1
	206	・変化の時代の学校教育Ⅴ (現代学校経営シリーズ35)	〃 146	17. 4. 1
	207	・学校力の向上 (現代学校経営シリーズ36)	〃 160	18. 4. 1
	208	・子どもを鍛える学校 (現代学校経営シリーズ37)	〃 168	18. 4. 1
	210	・学校を元気にするために －教師の力量を高め、子どもの学力・意欲が伸びる学 校経営－	B5. 88	18. 5. 1
	211	・「人間力」の育成を目指す学校経営 (現代学校経営シリーズ38)	新書判 148	19. 4. 1
	212	・子どもの居場所を創る学校 (現代学校経営シリーズ39)	〃 184	19. 4. 1
	213	・地域・保護者への対応と学校経営 (現代学校経営シリーズ40)	〃 172	20. 4. 1
	214	・新たな時代の学校経営の座標軸 (現代学校経営シリーズ41)	〃 176	20. 4. 1
	215	・学校を元気にするために －課題解決をめざす学校経営の創造－	B5. 72	20. 4. 1
	218	・学びの総合マネジメント (現代学校経営シリーズ42)	新書判 156	21. 4. 1
	219	・子どもの心に灯をともし学校 (現代学校経営シリーズ43)	〃 152	21. 4. 1
	223	・学びのための校内整備 (現代学校経営シリーズ44)	〃 154	22. 4. 1
	224	・若い教師を鍛えベテラン教師も伸びる学校経営 (現代学校経営シリーズ45)	〃 136	22. 4. 1

学 校 経 営	230	・授業の質的向上の経営戦略 (現代学校経営シリーズ46)	新書判 170	平成23. 4. 1
	231	・学校が大好きで先生を信頼する子どもたちの育成 (現代学校経営シリーズ47)	ㄥ 178	23. 4. 1
	235	・学校が守る命 (現代学校経営シリーズ48)	ㄥ 154	24. 4. 1
	236	・教職員への組織的サポート体制の確立 (現代学校経営シリーズ49)	ㄥ 172	24. 4. 1
	243	・これからの学校運営組織への展望 (現代学校経営シリーズ50)	ㄥ 160	25. 4. 1
	244	・学校が守る命Ⅱ (現代学校経営シリーズ51)	ㄥ 180	25. 4. 1
	253	・これからの学校運営組織への展望2 (現代学校経営シリーズ52)	ㄥ 160	26. 3. 10
	254	・実践にいきる校内研修 (現代学校経営シリーズ53)	ㄥ 144	26. 3. 10
	265	・創造的で革新的な組織風土の構築 (現代学校経営シリーズ54)	ㄥ 161	27. 4. 1
	266	・地域社会と連携した活力ある学校づくり (現代学校経営シリーズ55)	ㄥ 136	27. 4. 1
	274	・グローバル時代の学校教育の創造 (現代学校経営シリーズ56)	ㄥ 140	28. 4. 1
	275	・つながりの力による学校の創造 (現代学校経営シリーズ57)	ㄥ 128	28. 4. 1
	283	・社会に開かれた教育課程と学校経営 (現代学校経営シリーズ58)	ㄥ 152	29. 4. 1
	284	・未来に向けた確かな学び (現代学校経営シリーズ59)	ㄥ 128	29. 4. 1
テーマ 特 集	13	・授業の質を高める実践的研究 (複数教科)	B5. 96	昭和55. 12. 13
	21	・教材の研究と開発 (複数教科)	ㄥ 120	56. 4. 28
国 語		・国語教育における聞き方指導の研究 (基礎調査)	B5. 120	昭和31. 10. 1
		・国語教育における聞き方ドリルの研究 (第一次調査)	ㄥ 120	32. 9. 10
		・国語教育における聞きとり方類型の研究 －小学校低学年を中心として－	ㄥ 238	32. 11. 1
		・小学校低学年聞き方指導案の研究 －二学年を中心に－	ㄥ 104	33. 4. 1
		・小学校高学年聞き方指導案の研究 －五学年を中心に－	ㄥ 128	34. 3. 1
		・小学校国語聞き方指導例集 ー練習単元を中心にー	ㄥ 350	35. 12. 1
		・特集 国語教育の実践的研究	B5. 120	昭和54. 1. 10
	11	・小学校 国語習得困難な漢字の指導に関する研究	ㄥ 32	55. 8. 30
	16	・小学校国語教科書におけるさし絵の研究 (内部資料)	ㄥ 60	55. 10. 31

教科等	No	書名	判型 ページ数	発行年月日
国語	20	・読解指導における課題学習 －「学び方」を学ぶことをめざして－	B5. 26	昭和56. 3. 20
	24	・小学校国語における漢字提出の研究	ㄥ 68	56. 7. 31
	26	・小学校国語 指導と評価の一体化を目指した実践的 研究 －物語文教材の指導－	ㄥ 34	56. 9. 10
	27	・新しい国語（小学校55年度版）「学習の手引」の考 察 (内部資料)	ㄥ 40	56. 9. 7
	30	・小学校国語教育の実践的研究	ㄥ 128	57. 1. 21
	32	・漢字の字形 (教師の判断・児童の答案)	ㄥ 58	57. 2. 1
	40	・小学校国語 言語力を育てる文学教材の指導	ㄥ 44	57. 6. 16
	42	・小学校国語 言語事項の教材化の研究 その1	ㄥ 46	57. 7. 20
	44	・小学校国語 語彙指導の研究	ㄥ 56	57. 11. 12
	48	・特集 中学校国語教育の実践的研究	ㄥ 96	58. 4. 30
	49	・小学校国語 言語事項の教材化の研究 その2	ㄥ 60	58. 3. 31
	51	・中学校国語「学習の課題」の研究 (内部資料)	ㄥ 34	58. 4. 30
	59	・言語事項をおさえた教材研究とその展開 －表現指導・理解指導をとおして－	ㄥ 56	58. 10. 25
	60	・小学校における短作文指導の研究	ㄥ 106	58. 10. 31
	67	・漢字語彙指導の一考察 －小学校4年～6年の指導について－	ㄥ 56	59. 4. 24
	71	・漢字（音・訓）送り仮名・筆順の調査研究	ㄥ 64	60. 2. 1
	73	・感動を深める詩の指導	ㄥ 48	59. 10. 31
	79	・文学教材の読解力の育成	ㄥ 56	60. 3. 30
	85	・中学校国語 豊かな国語教室を創造する授業の構想 －小説教材を中心に－	ㄥ 46	60. 11. 30
	92	・望ましい作文教材の研究	ㄥ 40	61. 6. 28
	94	・小学校国語1・2年における子どもの思考力を育て る板書のあり方	ㄥ 32	61. 10. 20
	95	・小学校国語3・4年における子どもの思考力を育て る板書のあり方	ㄥ 32	61. 10. 20
	96	・小学校国語5・6年における子どもの思考力を育て る板書のあり方	ㄥ 32	61. 10. 20
	100	・小学校国語 ことばをこう取り上げたい	ㄥ 68	62. 10. 20
	102	・豊かな国語教室を創造する授業の構想 －説明的文章教材を中心に－中学国語	ㄥ 52	62. 10. 25
	105	・文学教材における語い指導の研究	ㄥ 56	63. 4. 2
114	・確かに読み取る力を育てる指導法の研究	ㄥ 44	平成元. 3. 10	
123	・書く能力を高めるための常時活動の指導	ㄥ 48	2. 4. 10	

国 語	135	・主体的に読もうとする能力を高める指導法の研究 ～文学的教材の読解指導の工夫～	B5. 56	平成3. 3. 30
	136	・思考力を育てる作文の学習指導	ㄥ 48	3. 4. 1
	140	・書きたいことがいっぱい －小学校国語作文指導事例集－	ㄥ 36	3. 5. 10
	143	・主体的に読もうとする能力を高める指導法の研究	ㄥ 56	4. 3. 30
	144	・小単元と大単元との関連づけによる作文力の充実	ㄥ 48	4. 4. 1
	149	・自ら学ぼうとする意欲を育てる読解指導法	ㄥ 56	5. 4. 1
	150	・情報化時代の作文指導法	ㄥ 48	5. 4. 1
	155	・主体的に学習する児童を育てる読みの指導（説明文）	ㄥ 56	6. 4. 1
	161	・主体的に学習する児童を育てる作文の指導（読んで書く）	ㄥ 55	6. 4. 1
	167	・言語情報の収集と図書館	ㄥ 52	8. 4. 1
	174	・音声言語の単元・教材開発とその学習指導	ㄥ 56	9. 4. 1
	180	・「知ることから生きることへ」説明的文章の読みの取り組み	ㄥ 56	10. 4. 1
	187	・聞くこと・話すことを通して人と人のかかわりを深める指導	ㄥ 56	11. 4. 1
	202	・楽しく確かな力をつける国語教室 －基礎・基本の定着を図るために－	ㄥ 80	15. 12. 1
	209	・発展・補充教材で国語の力を高める －新しい教材開発の工夫－	ㄥ 80	18. 4. 1
社 会		・地図理解の発達についての研究 (教科の教育心理学的研究)	B5. 70	昭和31. 11. 30
		・他地域の理解についての研究 (教科の教育心理学的研究)	ㄥ 104	31. 12. 10
		・農業生産の理解についての研究 －農業労働を中心として－ (教科の教育心理学的研究)	ㄥ 178	32. 11. 1
	2	・小学校社会科3・4学年用副読本作成の手引き	B5. 64	昭和53. 12. 1
	5	・特集 社会科教育の実践的研究	ㄥ 104	54. 12. 15
	14	・小学校社会科第3学年における地域学習の実践的研究	ㄥ 80	55. 9. 30
	17	・小学校社会科第6学年の教科書における歴史教材の比較研究 (内部資料)	ㄥ 36	55. 11. 30
	19	・中学校社会科 精選と指導の工夫 フック学習の試み	ㄥ 22	56. 3. 15
	29	・小学校社会科3・4年生における地域副読本の利用についての調査研究	ㄥ 32	56. 10. 29
	34	・子どもが意欲的に取り組む社会科指導 (1)効果的な導入の方法	ㄥ 56	57. 4. 26

教科等	No	書名	判型 ページ数	発行年月日
社 会	35	・児童の地理的意識の構造とその発達（試論）	B5. 72	昭和57. 5. 24
	46	・子どもが意欲的に取り組む社会科指導 (2)展開段落における指導の工夫	ㄥ 56	58. 4. 7
	52	・児童の地理的意識を伸ばす作図・読図とその指導	ㄥ 56	58. 5. 6
	54	・児童・生徒の歴史的意識の調査研究	ㄥ 52	58. 6. 1
	55	・学校放送を位置づけた小学校社会科カリキュラム1	ㄥ 32	58. 5. 31
	56	・学校放送を位置づけた小学校社会科カリキュラム2	ㄥ 30	58. 9. 15
	57	・学校放送を位置づけた小学校社会科カリキュラム3	ㄥ 24	59. 2. 1
	65	・子どもが意欲的に取り組む社会科指導 (3)終末段落における指導の工夫	56	59. 3. 30
	69	・小学校社会科 地域教材指導事例集	ㄥ 40	59. 10. 1
	75	・子どもが意欲的に取り組む社会科指導 (4)指導と評価の一体化	ㄥ 56	60. 3. 8
	82	・小学校社会科 地域環境を生かした社会科指導事例集 －人間を大切にする地域学習の展開－	ㄥ 46	60. 6. 10
	91	・子どもが意欲的に取り組む社会科指導 (5)社会科学習の個性化	ㄥ 56	61. 5. 10
	106	・社会科副読本の作成とその活用の手引き	ㄥ 56	63. 4. 2
	112	・地域素材の教材化 ー中学年社会科ー①	ㄥ 52	63. 6. 10
	115	・学習意欲をはぐくむ社会科指導のポイント	ㄥ 56	平成元. 3. 31
	124	・新学習指導要領（小学校社会）の改善点と消費者教育	ㄥ 48	2. 3. 29
	132	・地域素材の教材化 ー中学年社会科ー②	ㄥ 40	2. 7. 20
	156	・社会科の学習指導と評価～関心・意欲・態度とその方法	ㄥ 60	6. 4. 1
	162	・子どものよさを生かす社会科指導 －「思考・判断」の指導と評価・その方法－	ㄥ 60	7. 4. 1
	168	・子どものよさを生かす社会科学習 －表現・技能の評価とその方法－	ㄥ 56	8. 4. 1
	175	・子どもの生きて働く力を育てる社会科学習 －ティームティーチングの活用－	ㄥ 60	9. 4. 1
	181	・夢と知恵をはぐくむ社会科学習 －総合的な学習への試行－	ㄥ 56	10. 4. 1
	188	・夢と知恵をはぐくむ社会科学習 －内容の厳選を試行した単元展開事例－	ㄥ 56	11. 4. 1
228	・思考力・表現力を育むための指導と評価の事例研究 －小・中学校の社会科，算数・数学，理科－	A4. 52	23. 3. 28	
233	・小学校社会科指導の基礎研究① ～写真資料の提示の工夫～	ㄥ 24	23. 4. 11	

社 会	237	・小学校社会科指導の基礎研究② ～グラフを読み取る指導の工夫～	A4. 28	平成24. 3. 5
	245	・小学校社会科指導の基礎研究③ ～地図資料活用の課題と工夫～	ㄥ 28	25. 3. 4
	258	・小学校社会科指導の基礎研究④ －新聞づくりの指導法に関する実践的な研究－	ㄥ 32	26. 3. 17
算 数 数 学		・算数教科の内容に関する調査 (教科の教育心理学的研究)	B5. 114	昭和31. 8. 10
		・低学年算数教科書の検討(教科の教育心理学的研究)	ㄥ 80	31. 11. 26
		・図形弁別に関する調査(教科の教育心理学的研究)	ㄥ 162	32. 12. 28
		・ソ連の算数教科書	ㄥ 116	33. 12. 3
		・フランスの算数教科書	ㄥ 88	34. 10. 1
		・図形概念の形成過程(教科の教育心理学的研究)	ㄥ 126	34. 11. 5
		・アメリカの算数教科書	ㄥ 128	34. 12. 5
		・イギリスの算数教科書	ㄥ 88	35. 3. 15
		・ドイツの算数教科書	ㄥ 86	35. 8. 1
		・アメリカの中数教科書	ㄥ 90	36. 4. 5
		・イギリスの中数教科書	ㄥ 110	36. 8. 10
		・米ソの算数導入教材	ㄥ 96	36. 12. 5
		・英独仏の算数導入教材	ㄥ 80	37. 3. 20
		3	・小学校算数 1～4学年関数の考えについての指導	B5. 32
	7	・特集 数学教育の実践的研究	ㄥ 108	55. 5. 7
	10	・算数診断テストとその考察1	ㄥ 84	55. 5. 30
	12	・小学校算数関数の考えについての指導	ㄥ 72	55. 11. 29
	25	・小学校低・中学年を中心とした数概念の指導について の研究(内部資料)	ㄥ 132	56. 8. 22
	38	・小学校低学年 数概念形成の様相についての考察 －第1年次のまとめ－	ㄥ 52	57. 5. 24
	41	・小学校算数図形領域における教材・教具の開発研究	ㄥ 48	57. 7. 5
	50	・小学校算数 数学的な考え方の評価の研究 －図形教材を通して－	ㄥ 54	58. 5. 31
	53	・小学校低学年 数概念形成の様相についての考察 －第2年次のまとめ－	ㄥ 80	58. 7. 15
	68	・問題解決力を育成するための作問指導の考察 －第1年次のまとめ－	ㄥ 54	59. 5. 28
	74	・小学校算数つまずきの指導事例集	ㄥ 40	59. 10. 31
	78	・児童を主体的に生かし、問題解決能力を伸ばす指導 －教材の開発とその個別化についての考察－	ㄥ 56	60. 3. 30
	90	・児童を主体的に生かし、数学的考え方を伸ばす指導 －個別化と指導過程の工夫－	ㄥ 52	61. 5. 10

教科等	No	書名	判型 ページ数	発行年月日
算数 数学	107	・基礎・基本を押さえ、数学的思考方を伸ばす指導	B5. 56	昭和63. 4. 2
	116	・文章題解決における思考法の一考察	〃 56	平成元. 3. 31
	125	・問題解決力をつける効果的な思考のさせ方	〃 56	2. 4. 10
	137	・問題解決力をつける効果的な式の指導	〃 60	3. 3. 31
	145	・数学的な考えを伸ばす問題解決指導 －指導過程に評価を生かす－	〃 56	4. 3. 31
	151	・評価を生かし数学的な考え方を伸ばす	〃 56	5. 3. 31
	157	・自ら問題を考え主体的に解決する力を育てる指導と評価	〃 56	6. 4. 1
	163	・たくましく考える子を育てる指導と評価 －見通しをもち筋道を立てて考える－	〃 56	7. 4. 1
	169	・表現力の育成を図る算数の指導と評価	〃 56	8. 4. 1
	176	・算数のよさを追求する子を育てる指導と評価	〃 54	9. 4. 1
	182	・基礎・基本の学習を発展的に活用する能力を育てる指導	〃 56	9. 4. 1
	189	・生きる力を育てる算数学習の展開	〃 56	11. 4. 1
	217	・小学校算数 考えを説明する活動指導事例集	A4. 24	21. 2. 16
	220	・理数教育の充実に向けて －小・中の系統性をふまえた指導の研究－	〃 28	21. 5. 10
	222	・小学校算数 豊かに表現する活動指導事例集	〃 28	22. 2. 9
	225	・理数教育の充実に向けて －小・中の系統性を踏まえた指導の研究（2年次）－	〃 32	22. 4. 5
	227	・小学校算数 小中連携の視点に立った算数指導事例集	〃 28	23. 3. 22
	228	・思考力・表現力を育むための指導と評価の事例研究 －小・中学校の社会科，算数・数学，理科－	〃 52	23. 3. 28
	238	・小学校算数 小中連携の視点に立った算数指導事例集－2（図形編）	〃 36	24. 3. 19
	242	・小・中の系統性を踏まえた指導の研究 －「統計」の系統的な指導を考える－	〃 44	24. 12. 25
	248	・小学校算数 小中連携の視点に立った算数指導事例集－3（比例の活用編）	〃 32	25. 3. 25
	259	・算数・数学科の授業改善 －子どもの考えを生かした学習指導－ 算数科「数と計算」／数学科「数と式」	〃 32	26. 3. 28
	260	・小学校算数 小中連携の視点に立った算数指導事例集－4 本質的な理解に必要な教材の開発とその指導	〃 28	26. 3. 31
	269	・小学校算数 小中連携の視点に立った算数指導事例集－5 本質的な理解に必要な教材の開発とその指導	〃 36	27. 3. 23

算数 数学	270	・算数・数学科の授業改善2 －子どもの考えを生かした学習指導－ 算数科「数と計算」／数学科「図形」	A4. 32	平成27. 3. 23
	279	・算数・数学科の授業改善3 －子どもの考えを生かした学習指導－ 算数科「数と計算」／数学科「図形」	ㄥ 32	28. 3. 22
	288	・算数・数学科の授業改善4 －子どもの考えを生かした学習指導－ 算数科「数量関係」／数学科「関数」	ㄥ 32	29. 3. 21
理科		・低学年理科教科書の検討(教科の教育心理学的研究)	B5. 48	昭和31. 11. 30
		・小学校理科教材の理解と配列の研究 －4・5・6年を中心として－	ㄥ 160	34. 5. 30
		・ソ連理科教科書の研究 －初等学校－	ㄥ 168	34. 7. 18
		・アメリカ理科教科書の研究 －小学校－	ㄥ 152	34. 10. 28
		・ソ連理科教科書の研究 －中学校－	ㄥ 90	35. 7. 30
		・アメリカ理科教科書の研究 －中学校－	ㄥ 136	35. 7. 30
	4	・特集 理科教育の実践的研究	B5. 104	昭和54. 5. 10
	9	・中学校理科のつまずき教材内容に関する実証的研究Ⅰ	ㄥ 70	55. 5. 15
	15	・小学校理科 こどもの身近な素材の教材性の研究と教材開発	ㄥ 30	55. 10. 20
	23	・中学校理科のつまずき教材内容に関する実証的研究Ⅱ	ㄥ 60	56. 6. 20
	28	・小学校理科 教材・教具の利用とその問題点について	ㄥ 78	56. 11. 25
	31	・小学校理科「火と空気」について児童の意識と学習過程の研究	ㄥ 36	56. 10. 30
	33	・小学校理科における評価の研究	ㄥ 104	57. 5. 24
	36	・小学校理科の研究 理科好きの子を育てるために	ㄥ 42	57. 6. 5
	37	・小学校理科における基礎的・基本的内容に対する子供の意識と学習過程の追跡研究	ㄥ 34	57. 5. 30
	39	・小学校理科 教科書・関連教材についての研究 (内部資料)	ㄥ 48	57. 7. 26
	43	・エネルギー的な見方・考え方を深める理科授業を求めて	ㄥ 100	57. 10. 25
	58	・小学校理科における基礎的・基本的内容に対する子供の意識と学習過程の研究	ㄥ 48	58. 6. 30
	62	・小学校理科実験観察事例集 －実験観察指導の失敗例をとおして－	ㄥ 40	59. 6. 12
	64	・小学校理科のつまずき教材内容に関する実証的研究	ㄥ 64	59. 10. 31
	66	・小学校理科「水溶液」について 基礎的・基本的内容に対する子どもの意識と学習過程の研究	ㄥ 46	59. 3. 30
	76	・小学校理科における教材の開発	ㄥ 48	60. 3. 30



教科等	No	書名	判型 ページ数	発行年月日
理 科	81	・放送による学習 小学校理科のカリキュラムと単元の展開 I	B5. 114	昭和60. 5. 15
	83	・放送による学習 小学校理科のカリキュラムと単元の展開 II	ク 118	60. 9. 10
	87	・放送による学習 小学校理科のカリキュラムと単元の展開 III	ク 82	61. 1. 15
	93	・小学校理科の教材開発 ー特に地学教材についてー	ク 40	61. 7. 30
	97	・小学校理科 地域の素材を生かす指導資料 (東北版)	ク 50	61. 10. 25
	101	・小学校理科の興味・関心の研究	ク 48	62. 10. 25
	108	・小学校理科の教材開発 ー特に物理教材についてー	ク 48	63. 4. 2
	111	・小学校理科実験「安全指導の手引き」	ク 44	63. 2. 20
	117	・小学校理科の教材開発 ーB区分の教材を中心にー	ク 48	平成元. 3. 31
	126	・小学校理科の教材開発 ーB区分の新教材を中心にー	ク 48	2. 3. 31
	129	・より確かにねらいに到達させるための実験・観察の工夫	ク 38	元. 10. 20
	158	・問題解決能力を育てる授業の創造	ク 48	6. 4. 1
	164	・自然を愛する豊かな心情を育てる ー生物とその環境ー	ク 48	7. 4. 1
	170	・子どもの主体的な活動を促す授業の創造 ー学習の個別化・個性化ー	ク 52	8. 4. 1
	177	・身近な自然を生かした単元構成 ー素材の教材化ー	ク 48	9. 4. 1
	183	・生きる力を育てる理科学習	ク 48	10. 4. 1
	190	・生きる力を育てる理科学習	ク 48	11. 4. 1
	220	・理数教育の充実に向けて ー小・中の系統性をふまえた指導の研究ー	A4. 28	21. 5. 10
	225	・理数教育の充実に向けて ー小・中の系統性を踏まえた指導の研究 (2年次)ー	ク 32	22. 4. 5
	226	・思考力・表現力 (活用の能力) を育む学習評価に関する事例研究 ～ルーブリックを用いた評価の提案～	ク 46	22. 4. 26
	228	・思考力・表現力を育むための指導と評価の事例研究 ー小・中学校の社会科, 算数・数学, 理科ー	ク 52	23. 3. 28
	234	・理科教育の充実に向けて ー小・中の系統性 (粒子・生命・エネルギー) を踏まえた指導の研究ー	ク 48	23. 4. 25
	240	・評価規準と評価指標 (ルーブリック) を機能させながら, 科学的な思考力や表現力を高める理科学習指導の事例研究	ク 48	24. 4. 16

理 科	250	・科学的な思考力や表現力を高める理科学習の指導と評価の実践事例研究 －ルーブリック評価とメタ認知を踏まえた指導－	A4. 48	平成25. 4. 12
図 画 工 作	70	・小学校図画工作 表現意欲を高めるための導入方法	B5. 40	昭和59. 11. 6
	80	・小学校図画工作 表現意欲を高めるための学習指導の工夫	ク 32	60. 4. 11
	88	・小学校図画工作 目標の具体化と個人差への対応	ク 40	61. 3. 25
家 庭	8	・家庭科における消費者教育の小・中・高学習内容の関連	B5. 32	昭和55. 5. 15
技 術・ 家 庭	216	・勤労観・職業観を育てるために 第1報 －キャリア教育を踏まえた技術・家庭科教育－	B5. 48	平成20. 10. 31
	232	・新学習指導要領に基づく中学校技術・家庭科のカリキュラムづくり	A4. 32	23. 4. 11
	241	・中学校技術・家庭科のカリキュラムづくり ～問題解決能力の育成を目指して～	ク 40	24. 5. 28
道 徳	6	・小学校道徳教育に関する調査の趣旨と概要	B5. 12	昭和55. 5. 15
	18	・道徳的実践力を育てる指導の実践的研究	ク 62	56. 1. 25
	22	・小学校道徳の時間における「資料についての研究」の紹介	ク 20	56. 5. 29
	45	・道徳的実践力を育てる指導	ク 36	57. 11. 12
	109	・道徳教育の充実をめざした道徳授業の工夫・改善	ク 60	63. 4. 2
	118	・道徳教育をこのように	ク 40	平成元. 3. 31
	127	・新学習指導要領に即した道徳の時間の指導法の改善 －その1－資料の選択と活用（生命の尊重）	ク 64	2. 3. 31
	262	・小学校道徳教育のさらなる改善・充実を図るために ～「特別な教科 道徳」（仮称）の方向を踏まえて～	A4. 32	27. 2. 23
272	・小学校道徳教育のさらなる改善・充実を図るために ～「特別な教科 道徳」学習指導要領一部改正を踏まえて～	ク 36	28. 2. 22	
生 活	110	・新しい教科 生活科へのアプローチ	B5. 36	昭和63. 5. 1
	119	・生活科指導資料 －だれもができる生活科をめざして－（内部資料）	ク 68	63. 12. 1
	128	・移行措置期間における小学校第1・2学年の社会科・理科の年間指導計画の立案と指導の実践 －生活科の趣旨を生かして－	ク 56	平成 2. 1. 30
	130	・地域の特性を生かした生活科の実践	ク 56	2. 3. 10
	131	・内容と方法の一体化を図る生活科指導の手引き －指導計画例を中心に－	ク 90	2. 3. 15

教科等	No	書名	判型 ページ数	発行年月日
生活	133	・生き生き生活科をつくる －第1学年 生活科活動事例集－	B5. 36	平成 2. 11. 10
	138	・地域素材の教材化を図った生活科の学習指導	ㄥ 48	3. 4. 1
	139	・生活科活動事例集 子どもとともにつくる生活科	ㄥ 36	3. 4. 30
	146	・生活科の授業づくり －具体的な活動や体験を重視した学習指導法－	ㄥ 40	4. 3. 31
	152	・生活科の授業の実践	ㄥ 52	5. 3. 31
英語	47	・特集 中学校英語教育の実践的研究	B5. 104	昭和58. 4. 30
	61	・中学校英語科における個別化指導の研究	ㄥ 54	59. 3. 24
	77	・中学校英語 言語活動の指導事例とその評価	ㄥ 40	60. 3. 20
	86	・中学校英語 指導と評価の一体化 －言語活動を中心とした指導実践例－	ㄥ 54	60. 11. 30
	89	・中学校英語科「読むこと（読解）」の指導事例とその評価	ㄥ 48	61. 4. 23
	98	・中学校英語科 テスト問題作成の実際 (62年版 “New Horizon” 準拠)	ㄥ 38	62. 5. 20
	103	・指導と評価の一体化 －その2－ 言語活動を中心とした指導実践例	ㄥ 56	63. 1. 31
	120	・TEAM・TEACHING実践事例集	ㄥ 40	平成元. 5. 15
121	・TEAM・TEACHING表現用例集	ㄥ 36	元. 5. 15	
総合的な 学習の時間	193	・「総合的な学習の時間」を指導する教師に必要な力量形成	B5. 64	平成12. 2. 1
学級 経営	229	・子どもの居場所を確かなものにする学級経営 ～学級は学校経営の最前線～	A4. 36	平成23. 3. 28
	239	・子どもの居場所を確かなものにする学級経営 ～学級は学校経営の最前線Ⅱ～	ㄥ 40	24. 3. 19
	247	・子どもの居場所を確かなものにする学級経営 ～豊かな級風づくりへのスタート～	ㄥ 40	25. 3. 19
	257	・子どもの居場所を確かなものにする学級経営 学級担任の一日 ～朝に希望を抱き、夕に感謝して眠る～（小学校）	ㄥ 44	26. 3. 17
	267	・子どもの居場所を確かなものにする学級経営 学級担任の一日／中学校	ㄥ 40	27. 3. 23
	278	・子どもの居場所を確かなものにする学級経営 心の“架け橋”学級だより 学級担任の一日／中学校	ㄥ 40	28. 3. 18

学級 経営	287	・子どもの居場所を確かなものにする学級経営 語れる学級担任	A4. 48	平成29. 3. 21
小中連 携,一貫	252	・小中連携, 一貫教育推進のための課題と展望	A4. 28	平成26. 3. 3
	255	・子どもの「人間力」を育てる小中連携, 一貫教育 ー子どもたちの自立を見通してー	ク 32	26. 3. 24
	264	・小中連携, 一貫教育推進のための課題と展望その2 ーカリキュラム開発に関する工夫とその実践ー	ク 28	27. 4. 1
	268	・子どもの「人間力」を育てる小中連携, 一貫教育そ の2 ー9年間の学びを見通してー	ク 32	27. 3. 23
	273	・小中連携, 一貫教育の推進と生徒指導 ー地域の教育活動と連携して深める生徒指導ー	ク 28	28. 2. 29
教 育 課 題	246	・子どもたちの健やかな学校生活のために ー事例から学ぶ開発的生徒指導の視点ー	A4. 68	平成25. 3. 18
	249	・中学校における言語活動の充実を図る校内研究 ー各教科等における言語活動の取り組みー	ク 48	25. 4. 8
	256	・若い教師のための授業改善ヒント集 (小学校編)	ク 40	26. 3. 17
	261	・中学校における新学習指導要領実施後の検証 ー各学校の取り組みから見えてきたことー	ク 68	26. 3. 31
	263	・若い教師のための授業改善ヒント集 第2集 小学校編	ク 52	27. 2. 23
	271	・「いじめ」や「体罰」のない学校づくりを目指して ーいじめ撲滅と体罰根絶に向けた学校の取り組みー	ク 68	27. 3. 30
	276	・キャリア教育の一層の推進と生徒指導の在り方 ー基礎的・汎用的能力の育成と生徒指導ー	ク 48	28. 3. 7
	277	・若い教師のための授業改善ヒント集 第3集 小学校編	ク 52	28. 3. 14
	281	・夢をはぐくむオリンピック・パラリンピック教育の 推進 ー幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学 校におけるカリキュラム編成の工夫ー	ク 40	28. 3. 28
	285	・若い教師のための授業改善ヒント集 第4集 小学校編	ク 52	29. 3. 13
	289	・カリキュラム・マネジメントの視点になった学校経営 ー学校組織運営の活性化と授業改善を通してー	ク 60	29. 3. 27
	290	・夢をはぐくむオリンピック・パラリンピック教育の 推進2 ー幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学 校の年間指導計画の作成と実践事例ー	ク 36	29. 3. 27

教科等	No	書名	判型 ページ数	発行年月日
教育 法規	251	・教育法規相談ハンドブック30	B5. 112	平成26. 3. 3
	291	・改訂新版 教育法規相談ハンドブック35	ク 132	29. 6. 26
特別支 援教育	280	・通常の学級における特別支援教育のポイント －児童生徒一人一人に応じた支援の充実－	A4. 33	平成28. 3. 22
	282	・通常の学級における特別支援教育のポイントその2 －事例に応じた支援の工夫－	ク 32	29. 2. 27

## <その2>東研情報

教科等	No	特集テーマ（※は巻頭言のタイトル）	判型 ページ数	発行年月日
学 校 経 営 (小)	1	・名将は部下から学ぶ（※）	B5. 12	昭和57. 4. 20
	2	・「博学」と「多学」（※）	〃	57. 6. 5
	3	・「教育」と「学育」（※）	〃	57. 10. 25
	4	・小・中・高校生の健康（※）	〃	57. 12. 10
	5	・小・中学校教育に期待する（※）	〃	58. 1. 15
	6	・学校と「計画」（※）	〃	58. 3. 10
	7	・醒めた目で高校を（※）	〃	58. 4. 10
	8	・「教育」は誤訳か（※）	〃	58. 5. 10
	9	・生徒指導コース（※）	〃	58. 6. 10
	10	・育てて欲しいたくましい子どもたち（※）	〃	58. 9. 25
	11	・人間性豊かな児童の育成 －教育課程の評価と改善－（※）	〃	58. 11. 25
	12	・教師の資質（※）	〃	59. 2. 10
	13	・教育臨調と小学校教育（※）	〃	59. 4. 10
	14	・君子の徳は風なり（※）	〃	59. 6. 10
	15	・ちがいをたのしむ（※）	〃	59. 9. 10
	16	・ある碑銘に（※）	〃	59. 11. 10
	17	・「典座教訓」と教育（※）	〃	60. 1. 10
	18	・「自己教育力」の育成をどう生かすか（※）	〃	60. 2. 10
	19	・新しい教育の課題（※）	〃	60. 4. 10
	20	・高度技術社会と学校教育（※）	〃	60. 5. 10
	21	・「親切」と「和」（※）	〃	60. 11. 10
	22	・ことばと生きがい（※）	〃	61. 2. 10
	23	・スポーツと国力（※）	〃	61. 4. 10
	24	・教師の成長する学校経営（※）	〃	61. 6. 10
	25	・“うまい”より“よい”ゴルファーを（※）	〃	61. 10. 15
	26	・身体の動きの矯正から（※）	〃	62. 1. 20
	27	・音楽と人生の並木路（※）	〃	62. 3. 20
	28	・「努力」から「心技一体」へ（※）	〃	62. 6. 10
	29	・学校経営の研究（※）	〃	62. 9.
	30	・コトバの美学（※）	〃	62. 11.
	31	・戦前と戦後一つの連続について（※）	〃	63. 1.
	32	・領土・ふるさと（※）	〃	63. 2.
	33	・冒険への夢（※）	〃	63. 4.
	34	・教え子万歳（※）	〃	63. 5.
	35	・個性（Ⅰ）（※）	〃	63. 11.
	36	・個性（Ⅱ）（※）	〃	64. 1.
	37	・子供を考える（※）	〃	平成元. 4.
	38	・親の愛 －カルガモに想う（※）	〃	元. 6.

教科等	No	特集テーマ（※は巻頭言のタイトル）	判型 ページ数	発行年月日
学 校 経 営 (小)	39	・生きる教師（※）	B5. 12	平成元. 9.
	40	・心の教育	〃	元. 11.
	41	・文化と伝統を尊重する	〃	2. 1.
	42	・法規と学校経営	〃	2. 4.
	43	・学校の人間化	〃	2. 6.
	44	・情報化社会に生きる	〃	2. 9.
	45	・しつけを考える	〃	2. 11.
	46	・心と体の健康 ～学校保健を考える～	〃	3. 1.
	47	・自ら学ぶ意欲を高める	〃	3. 4.
	48	・基礎・基本と個性を生かす教育	〃	3. 6.
	49	・猿智恵のいましめ（※）	〃	4. 1.
	50	・21世紀に学校はあるか（新しい教育の創造）（※）	〃	4. 4.
	51	・こころに床の間を（※）	〃	4. 9.
	52	・伝統文化を受容する教養を（※）	〃	5. 1.
	53	・教育とは（※）	〃	5. 4.
	54	・子どもたちが自分のことが好きになる学校（※）	〃	5. 9.
	55	・お正月の民族行事は、日本の生活の原点（※）	〃	6. 1.
	56	・今、教師は（※）	〃	6. 4.
	57	・音楽と学校経営（※）	〃	6. 9.
	58	・21世紀の学校経営の夢（※）	〃	7. 1.
	59	・教職員の意識改革と校長の指導性（※）	〃	7. 4.
	60	・自己責任の自覚としての学校経営の評価（※）	〃	7. 9.
	61	・教職員の変革を促す	〃	8. 1.
	62	・いじめ	〃	8. 4.
	63	・インターネット	〃	8. 9.
	64	・教育実習と学校経営	〃	9. 1.
	65	・校長会と学校経営	〃	9. 4.
	66	・「生きる力」の育成と開かれた学校経営	〃	9. 9.
67	・「心の教育」と学校経営	〃	10. 1.	
68	・教課審「中間まとめ」の方向と学校経営	〃	10. 4.	
69	・個性を生かす教育と学校経営	〃	10. 9. 1	
70	・新・学校経営への期待と提言	〃	11. 1. 1	
71	・学校経営、その最重点施策を探る	〃	11. 4. 1	
72	・特色ある教育活動を展開する学校経営の創造を（※）	A4. 8	11. 6. 1	
73	・「学校の舵」を握るものは校長（※）	〃	12. 1. 1	
74	・2000年、学校経営の要諦（※）	〃	12. 4. 1	
75	・自主・自立時代の学校経営（※）	〃	12. 9. 1	
76	・「心の教育」の確かな推進のために	〃	13. 1. 1	
77	・これからの評価のあり方と学校経営	〃	13. 4. 1	
78	・学校の再構築	〃	13. 6. 1	

学 校 経 営 (小)	79	・2002年からの学校像に迫る	A4.	8	平成14.	1.	1
	80	・教育改革の推進と学校経営	〃		14.	4.	1
	81	・学校経営組織の確立と学校経営	〃		14.	9.	1
	82	・学校とは…その機能と役割を問う	〃		15.	1.	1
	83	・学校評価システムの確立と学校経営	〃		15.	4.	1
	84	・学校の伝統ある行事・教育活動は残存できるのか	〃		15.	9.	1
	85	・「学校を開く」－説明責任の確立を期す学校経営－	〃		16.	1.	1
	86	・「二学期制の導入と学校経営 －導入は教育改革につながるものか－」	〃		16.	4.	1
	87	・教師力の向上を目指す学校経営	〃		16.	9.	1
	88	・「命の教育」と学校経営	〃		17.	1.	1
	89	・「校種間の連携」と学校経営	〃		17.	4.	1
	90	・学校の課題と「学校評価」	〃		17.	9.	1
	91	・情報化社会の子どもと学校経営	〃		18.	1.	1
	92	・「公共心」の育成と学校経営	〃		18.	4.	1
	93	・「コミュニケーション能力」の育成と学校経営	〃		18.	9.	1
	94	・「体力向上・健康増進」を目指す学校経営	〃		19.	1.	1
	95	・「経営方針の浸透」を確かにする学校経営	〃		19.	4.	1
	96	・「教員の授業力・資質の向上」を図る学校経営 －経験に応じた教員養成－	〃		19.	9.	1
	97	・「学校評価」を生かす学校経営 －内にも外にも開かれた学校を目指して－	〃		20.	1.	1
学 校 経 営 (中)	1	・学校の再構築	A4.	8	平成13.	6.	1
	2	・教育内容の再考	〃		14.	1.	1
	3	・変革する学校	〃		14.	4.	1
	4	・新学習指導要領の円滑な実施	〃		14.	9.	1
	5	・新学習指導要領の円滑な実施	〃		15.	1.	1
	6	・新学習指導要領の円滑な実施	〃		15.	4.	1
	7	・新学習指導要領の成果と実践	〃		15.	9.	1
	8	・新学習指導要領の成果と実践	〃		16.	1.	1
	9	・学校経営の改革	〃		16.	4.	1
	10	・学校経営の改革	〃		16.	9.	1
	11	・学校経営の改革	〃		17.	1.	1
	12	・学校経営の改革	〃		17.	4.	1
	13	・学校経営の改革	〃		17.	9.	1
	14	・学校経営の改革	〃		18.	1.	1
	15	・学校経営の改革	〃		18.	4.	1
	16	・学校経営の改革	〃		18.	9.	1
	17	・学校経営の工夫	〃		19.	1.	1
	18	・学校経営の工夫	〃		19.	4.	1
	19	・教育改革と学校経営	〃		19.	9.	1
	20	・教育改革と学校経営	〃		19.	12.	1



教科等	No	特集テーマ（※は巻頭言のタイトル）	判型 ページ数	発行年月日
学 校 経 営 (小・中)	小	中		
	98	21	・安心・安全な学校づくり	A4. 12 平成20. 4. 1
	99	22	・連携を深め、学習意欲・態度を高める学校経営	〃 20. 9. 1
	100	23	・授業力を高める学校経営	〃 21. 1. 1
	101	24	・信頼される学校づくり	〃 21. 4. 1
	102	25	・共に創るこれからの学校 環境問題	〃 21. 9. 1
	103	26	・共に創るこれからの学校 人材育成	〃 22. 1. 1
	104	27	・共に創るこれからの学校 学力向上	〃 22. 4. 1
	105	28	・共に創るこれからの学校 ICTの活用	〃 22. 9. 1
	106	29	・共に創るこれからの学校 和の文化	〃 23. 1. 1
	107	30	・共に創るこれからの学校 地域連携	〃 23. 4. 1
	108	31	・「らしさ」を発揮する学校経営 日本人らしさ	〃 23. 9. 1
	109	32	・「らしさ」を発揮する学校経営 管理職らしさ	〃 24. 1. 1
	110	33	・「らしさ」を発揮する学校経営 学校らしさ	〃 24. 4. 1
	111	34	・学び合う学校のマネジメント①	〃 24. 9. 1
	112	35	・学び合う学校のマネジメント②	〃 25. 1. 1
	113	36	・学び合う学校のマネジメント③	〃 25. 4. 1
	114	37	・教員が元気になるマネジメント①	〃 25. 9. 1
	115	38	・教員が元気になるマネジメント②	〃 26. 1. 1
	116	39	・教員が元気になるマネジメント③	〃 26. 4. 1
	117	40	・教員が元気になるマネジメント④	〃 26. 9. 1
	118	41	・教員が元気になるマネジメント⑤	〃 27. 1. 1
	119	42	・教員が元気になるマネジメント⑥	〃 27. 4. 1
	120	43	・学校のチーム力を高めるマネジメント①	〃 27. 9. 1
	121	44	・学校のチーム力を高めるマネジメント②	〃 28. 1. 1
	122	45	・学校のチーム力を高めるマネジメント③	〃 28. 4. 1
123	46	・チームとしての学校力を高めるマネジメント①	〃 28. 9. 1	
124	47	・チームとしての学校力を高めるマネジメント②	〃 29. 1. 1	
125	48	・チームとしての学校力を高めるマネジメント③	〃 29. 4. 1	
126	49	・人・社会とつながりを深める学校経営①	〃 29. 9. 1	
国 語	39	・新しい文学教材の指導の研究	B5. 12 平成 4. 1.	
	40	・情報化時代の作文指導	〃 4. 4.	
	41	・中学校から見た公立小学校の国語教育	〃 4. 7. 8	
	42	・主体的・積極的に表現する児童の育成—話すことを中心に—	〃 5. 1.	
	43	・国語科の校内研究の進め方	〃 5.	
	44	・主体的に読む児童を育てる	〃 5.	
	45	・主体的に聞き、正確に理解する児童を育てる	〃 6.	
	46	・情報の読み	〃 6.	
	47	・読解学習における支援	〃 6.	

国 語	48	・作文学習における支援	B5. 12	平成 7.
	49	・文学教材で学習すること	〃	7.
	50	・短時間で言う作文の学習指導	〃	7.
	51	・主体的な情報収集の学習指導	〃	8.
	52	・個人差・能力差に応じた学習指導	〃	8.
	53	・読解学習過程における評価とその後の指導	〃	8.
	54	・正しい情報の発信者を育てる	〃	9.
	55	・意欲的に書く児童を育てる作文指導	〃	9.
	56	・生きる力をはぐくむ文学の学習指導	〃	9.
	57	・生きる力としての言語の教育を進める	〃	10.
	58	・論理的に意見を述べる力を育てる	〃	10.
	59	・新しい国語教育の方向Ⅰ	〃	10. 9. 1
	60	・新しい国語教育の方向Ⅱ	〃	11. 1. 1
	61	・新しい国語教育の方向Ⅲ	〃	11. 4. 1
	62	・「伝え合う力」が育つ書くことの学習指導	A4. 8	11. 6. 1
	63	・総合的な視点に立つ学習指導	〃	12. 1. 1
	64	・言語活動の工夫－基礎的・基本的能力を伸ばすために－	〃	12. 4. 1
	65	・豊かな読書人を育てるために	〃	12. 9. 1
	66	・ことばの世界を楽しもう	〃	13. 1. 1
	67	・「話す・聞く」の大切なこと	〃	13. 4. 1
	68	・生活に生きる書く力	〃	13. 6. 1
	69	・情報を生活に生かす説明的文章の読み	〃	14. 1. 1
	70	・新教育課程始まる	〃	14. 4. 1
	71	・読むことの基礎・基本－文学的文章をとおして－	〃	14. 9. 1
	72	・話すこと・聞くことの基礎・基本－日常の活動を生かして－	〃	15. 1. 1
73	・書くことの基礎・基本－日常の活動を生かして－	〃	15. 4. 1	
74	・待ち遠しい国語の授業	〃	15. 9. 1	
75	・楽しんで字を書こう	〃	16. 1. 1	
社 会	39	・社会的共感の意思の育成	B5. 12	平成 4. 1.
	40	・新しい環境の教育	〃	4. 4.
	41	・新教育課程の全面実施(1)	〃	4. 9.
	42	・新教育課程の全面実施(2)	〃	5. 1.
	43	・新教育課程の全面実施(3)	〃	5.
	44	・子どもたちの学校外生活	〃	5.
	45	・子どもなりの考えを生かす社会科学習	〃	6.
	46	・自分なりの見方・考え方を生かす社会科学習	〃	6.
	47	・自分とのかかわりを大切にして事象を追究する社会科学習	〃	6.
	48	・自分の思いや考えを表現する社会科学習	〃	7.
	49	・子どもが学習問題を主体的に解決していく社会科学習	〃	7.
50	・新しい学力観に立つ教育	〃	7.	

教科等	No	特集テーマ（※は巻頭言のタイトル）	判型 ページ数	発行年月日
社 会	51	・子どものよさが生きる社会科学習	B5. 12	平成 8.
	52	・子どものよさが生きる社会科学習Ⅱ	〃	8.
	53	・生きる力を育てる社会科学習	〃	8.
	54	・生きる力を育てる社会科学習	〃	9.
	55	・生きる力を育てる社会科学習	〃	9.
	56	・夢と知恵をはぐくむ社会科学習	〃	9.
	57	・夢と知恵をはぐくむ社会科学習	〃	10.
	58	・教育課程審議会の中間まとめをふまえた社会科の方向	〃	10.
	59	・これからの社会科の動向 －内容の厳選・重点化と自己評価－	〃	10. 9. 1
	60	・学校パラダイムの転換と新しい社会科教育の動向	〃	11. 1. 1
	61	・これからの社会科学習の取り組みと課題	〃	11. 4. 1
	62	・子どもの学ぶ力を育てる	A4. 8	11. 6. 1
	63	・地域に密着した社会科学習	〃	12. 1. 1
	64	・4月から始まる社会科の移行措置への対応	〃	12. 4. 1
	65	・移行措置期間中の3年・4年の課題	〃	12. 9. 1
	66	・移行措置期間中の5年社会科の課題	〃	13. 1. 1
	67	・移行措置期間中の6年社会科の課題	〃	13. 4. 1
	68	・新しい社会科の役割と課題	〃	13. 6. 1
	69	・確かな学力が育つ社会科学習の展開	〃	14. 1. 1
	70	・確かな学力が育つ社会科学習の展開	〃	14. 4. 1
	71	・見方、考え方を育てる社会科学習	〃	14. 9. 1
	72	・見方、考え方を育てる社会科学習	〃	15. 1. 1
	73	・見方、考え方を育てる社会科学習	〃	15. 4. 1
	74	・見方、考え方を育てる社会科学習	〃	15. 9. 1
	75	・見方、考え方を育てる社会科学習	〃	16. 1. 1
算 数	39	・子供を主体的に生かし、思考力を伸ばす	B5. 12	平成 4. 1.
	40	・子供を主体的に活かし、思考力を伸ばす	〃	4. 4.
	41	・子どもを主体的に活かし、思考力を伸ばす	〃	4. 9.
	42	・子どもを主体的に活かし、問題解決力を伸ばす	〃	5. 1.
	43	・子供を主体的に活かし、問題解決力を伸ばす	〃	5.
	44	・算数への関心・意欲・態度を育てる指導と評価	〃	5.
	45	・算数への関心・意欲・態度を育てる指導と評価	〃	6.
	46	・算数への関心・意欲・態度を育てる指導と評価	〃	6.
	47	・一人一人の子どもの豊かな表現力を育てる算数の指導と評価	〃	6.
	48	・一人一人の子どもの的確な表現力を育てる算数の指導と評価	〃	7.
	49	・子どものよさと可能性を伸ばす算数の指導と評価	〃	7.

算 数	50	・自己評価・相互評価を生かした学習指導の展開	B5. 12	平成 7.
	51	・多様な考えを生かす算数の指導と評価	〃	8.
	52	・問題解決能力を高める算数の指導と評価	〃	8.
	53	・数量や図形に関する感覚を豊かにする	〃	8.
	54	・算数のよさと子どものよさと T・T	〃	9.
	55	・豊かな感性を育む算数の指導と評価	〃	9.
	56	・コンピュータの活用と算数の指導	〃	9.
	57	・興味ある問題の開発とその指導	〃	10.
	58	・生きる力を育む算数の指導と評価	〃	10.
	59	・「自ら課題をつかみ、よりよく問題を解決する力を育てる」指導と評価	〃	10. 9. 1
	60	・算数のよさを他教科・領域の指導に生かす	〃	11. 1. 1
	61	・「算数的活動」を重視した学習の展開	〃	11. 4. 1
	62	・生きる力を育てる算数教育の展開	A4. 8	11. 6. 1
	63	・生きる力を育てる算数教育の展開	〃	12. 1. 1
	64	・生きる力を育てる算数教育の展開	〃	12. 4. 1
	65	・考えることを楽しみ、感動をうむ授業の創造	〃	12. 9. 1
	66	・少なく考えて多くを学ばせる算数の指導	〃	13. 1. 1
	67	・「きらいをすきにする」算数の指導	〃	13. 4. 1
	68	・「生活に生かす」算数授業の展開 －算数のよさを実感する－	〃	13. 6. 1
	69	・「生活に生かす」算数授業の展開 －算数のよさを実感する－	〃	14. 1. 1
	70	・基礎・基本の確実な定着をめざす算数指導	〃	14. 4. 1
	71	・確かな基礎・基本と発展的な考えをめざす算数指導 －少人数指導を通して－	〃	14. 9. 1
	72	・筋道を立てて考える力を伸ばす算数指導	〃	15. 1. 1
	73	・自力解決の力を育てる算数指導	〃	15. 4. 1
	74	・学びの質を高める算数指導	〃	15. 9. 1
75	・学力の確かな定着を図る算数指導	〃	16. 1. 1	
理 科	39	・学習内容の関連を図った新鮮な授業の創造	B5. 12	平成 4. 1.
	40	・問題解決への導入と展開の工夫	〃	4. 4.
	41	・科学的な見方・考え方を育てる	〃	4. 9.
	42	・観察・実験の結果とまとめ	〃	5. 1.
	43	・新教育課程を実施して1年、果たして授業は変わったのか	〃	5. 4.
	44	・親しみやすく効果的な観察・実験	〃	5. 9.
	45	・児童の多様な活動を促す教材・教具の開発	〃	6. 1.
	46	・自然の事物・現象との出会いと問題構成	〃	6. 4.
	47	・問題解決の流れにそった計画と実行	〃	6. 9.
	48	・観察・実験の結果をもとにした新しい概念の構成	〃	7. 1.
49	・直接経験を重視した教材の教材化	〃	7. 4.	

教科等	No	特集テーマ（※は巻頭言のタイトル）	判型 ページ数	発行年月日
理 科	50	・新しい学力観と理科指導	B5. 12	平成 7. 9.
	51	・学習意欲を高める導入の工夫	〃	8. 1.
	52	・科学的な見方や考え方を育てる	〃	8. 4.
	53	・子どもの発想を生かした観察・実験	〃	8. 9.
	54	・学習意欲と教材	〃	9. 1.
	55	・問題解決における活動の深まり	〃	9. 4.
	56	・子どもの考え方にそった教材・教具の工夫	〃	9. 9.
	57	・学習意欲を高める展開の工夫	〃	10. 1.
	58	・問題解決学習	〃	10. 4.
	59	・全国小学校理科研究大会・東京大会	〃	10. 9. 1
	60	・個を生かす	〃	11. 1. 1
	61	・新しい教育課程と理科	〃	11. 4. 1
	62	・生きる力と問題解決	A4. 8	11. 6. 1
	63	・魅力ある理科授業をつくる	〃	12. 1. 1
	64	・「事象に親しむ」と問題解決	〃	12. 4. 1
	65	・見通しをもち追究する子どもを育てる（その1）	〃	12. 9. 1
	66	・見通しをもち追究する子どもを育てる（その2）	〃	13. 1. 1
	67	・見通しをもち追究する子どもを育てる（その3）	〃	13. 4. 1
	68	・見通しをもち追究する子どもを育てる（その4）	〃	13. 6. 1
	69	・基礎・基本の育成と授業づくり	〃	14. 1. 1
	70	・理科の楽しさやよさが実感できる授業づくり	〃	14. 4. 1
	71	・追究する楽しさを味わわせる理科の授業づくり	〃	14. 9. 1
	72	・主体的な追究を促す課題選択単元の授業づくり	〃	15. 1. 1
	73	・分かるまで学ぶ子どもを育てる理科の授業づくり	〃	15. 4. 1
	74	・基礎・基本の習得をめざす授業づくり	〃	15. 9. 1
75	・基礎・基本の習得を目指す授業づくり	〃	16. 1. 1	
生活・ 総合的 な学習 の時間	1	・総合的な学習 21世紀への学校づくりと総合的な学習（※）	B5. 12	平成11. 1. 1
	2	・「なぜ、いま総合的な学習なのか」に子どもはこう答える（※）	〃	11. 4. 1
	3	・10歳をターゲットにした総合的な学習（※）	A4. 8	11. 6. 1
	4	・まずは授業。周辺は後からついてくる（※）	〃	12. 1. 1
	5	・教科と総合の「総合」に向けて（※）	〃	12. 4. 1
	6	・総合的な学習の評価（その1）	〃	12. 9. 1
	7	・総合的な学習の評価（その2）	〃	13. 1. 1
	8	・総合的な学習の評価（その3）	〃	13. 4. 1
	9	・総合的な学習の評価（その4）	〃	13. 6. 1
	10	・「総合的な学習の時間」の全体計画	〃	14. 1. 1
	11	・「総合的な学習の時間」の課題づくり	〃	14. 4. 1

生活・ 総合的 な学習 の時間	12	・「総合的な学習の時間」の基礎・基本	A4.	8	平成14.	9.	1
	13	・「総合的な学習の時間」の活動を指導要録にどうつなげるか	ク		15.	1.	1
	14	・「総合的な学習の時間」2年目、どう深めるか	ク		15.	4.	1
	15	・今、英語活動で何を育てるか	ク		15.	9.	1
	16	・かかわりを深め、広げる生活・総合	ク		16.	1.	1
音 楽		・小学校高学年における表現形態の選択学習	A4.	8	平成13.	3.	1



## 東京教育研究所の案内

〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1

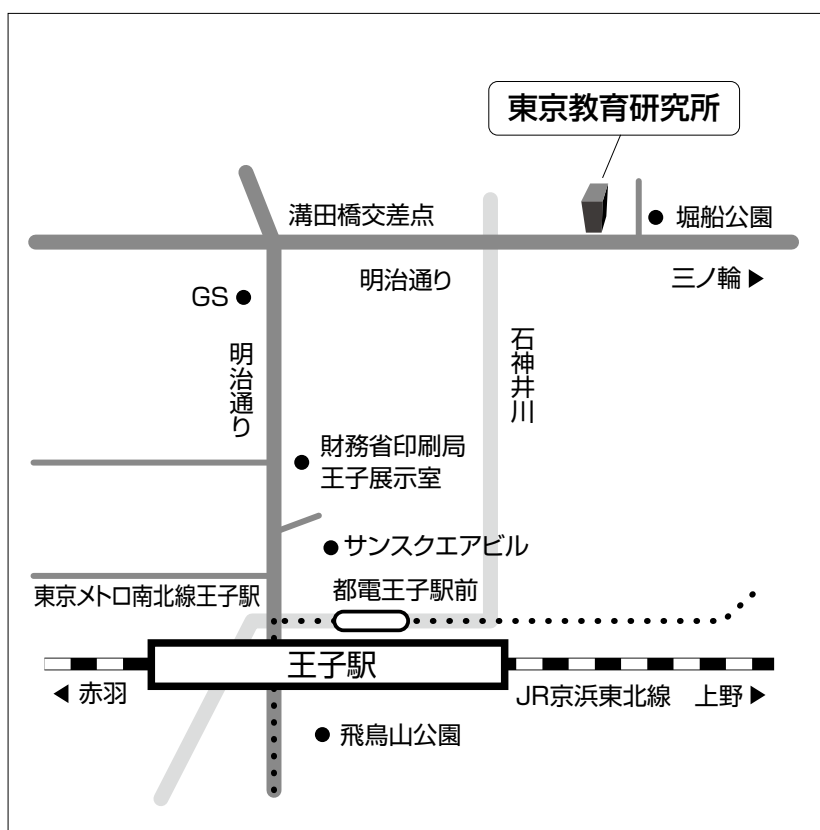
電話 03-5390-7486

FAX 03-5390-6012

Eメール [touken1@nifty.com](mailto:touken1@nifty.com)

ホームページ <http://touken.tokyo-shoseki.co.jp/>

交通	JR 京浜東北線	王子駅から徒歩10分
	東京メトロ 南北線	王子駅から徒歩10分
	都電荒川線	王子駅前から徒歩10分





## 東京教育研究所の概要

平成29年11月1日発行 発行者 谷川 彰英  
発行所 東京教育研究所

